

第一回 学校運営協議会記録

令和6年6月3日開催

司会:平岡

記録:松浦

1. 開式の言葉

2. 学校運営協議会委員委嘱・任命

- ・教育委員会浅尾課長補佐より、代表して菊屋さんに任命状を手渡し。他10名交付。

3. 校長あいさつ

4. 委員紹介(自己紹介)

中山(令和5年度 南三小 PTA 会長)

古根川(南コミュニティクラブ代表)

高橋(青少年指導員)

菊屋(大阪狭山市地域学校協働活動推進員)

酒匂(南第三小学校校長)

平岡(南第三小学校教頭)

中田(元南中学校校長)

安満(こども園園長)

松浦(南第三小学校首席)

欠席者:山口(令和6年度 南三小 PTA 会長)、前東(主任児童委員)

5. 学校運営協議会規則・規定の説明

- ・学校運営協議会規則 2条、7条、8条
- ・学校運営協議会規定 7条、8条、10条

6. 会長及び副会長の選出

- ・会長に菊屋さん、副会長に中田さんを選出

7. 事務局について

- ・事務局長に菊屋さん、事務局次長に松浦を選出

8. 学校運営の基本方針及び状況について

○令和6年度 学校運営の基本方針について説明(校長より)

- ・学校教育目標 『ふるさとを愛し、未来をひらく三小っ子』
- ・めざす子ども像。まずは、進んであいさつをする子を。
(学校の中だけではなく、地域に出ても、地域とつながりが持てるように)
- ・地域学習の充実。
(地域の方が学校へ来たり、子どもたちが地域へ出かけたり。)
- ・情報活用能力、デジタル・シチズンシップの向上。
(来年度の方向性も踏まえて)
- ・年々、児童数が減少しているため、特色を出して、人が集まる学校へ。

9. 地域学校協働推進員の取組みについて

- ・これからの取組みで、学校と地域のつながり、地域の人同士のつながりを深めたい。

<地域学習の計画>

- 1年：地域の公園を見守る人、むかしあそび
- 2年：町たんけん、生き物大すき
- 3年：公民館・図書館、ぶどう園
- 4年：校区のいいところ・改善できるところ(様々な立場の人にとって)・防災
- 5年：福祉について考える(介護福祉施設の方との交流・認知症サポーター養成講座)
- 6年：まちの幸福論、平和学習

10. 学校運営協議会等の取組みについて(議論)

- ・地域内で子どもに声をかけて、通報されたという話を聞いた。地域で子どもにあいさつをすることが難しい。
→普段から交流をして、顔なじみになっておく必要がある。
- ・学校の地域学習などを活用し、地域の人と子どもが出会う場を設定する。
- ・お互いがウィンウィンの関係になれることをめざす。(一緒にロコモ体操をするなど・・・)
- ・まずは、保護者が子どもたちのためにがんばっている姿を見せることで、地域の人も協力する気持ちにつながるのでは。
- ・保護者の協力を集めるために、学校の行事ごとにピンポイントでサポートしてもらおう。
- ・かつて行っていた「ふれあいまつり」は、スタッフの高齢化で続けることが困難になった。
- ・保護者は、子どもたちが楽しめるようなものであれば、動いてくれる人がいるのでは。
- ・高齢者の中にも、学校に協力したい、子どもたちと交流したい、と思っている人がいる。
- ・通常は各学期に1回の開催だが、1学期中に臨時で再度学校運営協議会を開催し、議論を受けての具体的な活動について確認できるようにする。